

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年7月1日～2024年6月30日)

更水建設工業株式会社

2024 年 7 月 16 日 作成

事業概要

1 事業者及び代表者

更水建設工業 株式会社
代表取締役 田中 章

2 所在地及び連絡先

本 社：長野県長野市信州新町新町211-3 TEL 026-262-2157
FAX 026-262-3300
E-mail kohsui@tmt.ne.jp
機 材 庫：長野県長野市信州新町山上条 TEL 026-262-3564

3 事業の設立

創 業 1928年(昭和 3年) 7月 1日
法人設立 1947年(昭和22年) 12月27日
資 本 金 3,500万円

4 事業の内容

総合建設業 土木工事、とび・土工工事、石工事、管工事、鋼構造物、
舗装工事、水道工事、解体工事

5 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 田中 章 TEL 026-262-2157
環境管理担当者 田中 久実 FAX 026-262-3300

6 事業の規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	870	944	631
従業員	人	25	26	27
床面積	m2	2397	2397	2397

7 登録認証範囲

全組織・全事業を対象(認証登録)範囲とする。

環境経営方針

基本理念

更水建設工業株式会社は、建設工事の事業活動において、自然環境の保全並びに環境負荷の低減・継続的改善に取り組み、“豊かさを未来につなげる環境造り”を推進していきます。

基本指針

- I 環境負荷軽減のために、省資源、省エネルギー、リサイクル、水資源の節約を推進する。
- II 特に、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めると共に適正な処理を行う。
- III 環境関連法規、条例、その他規制を遵守する。
- IV 事業活動に使用する建設資材、仮設材料等は、環境に配慮した資材購入を推奨する。
- V 環境意識を高めるため、全従業員に環境に関する適切な教育、訓練を行う。
- VI 環境レポートを作成し、内外に情報を公表し社会との意思疎通を図る。

制定日 2009年 9月11日

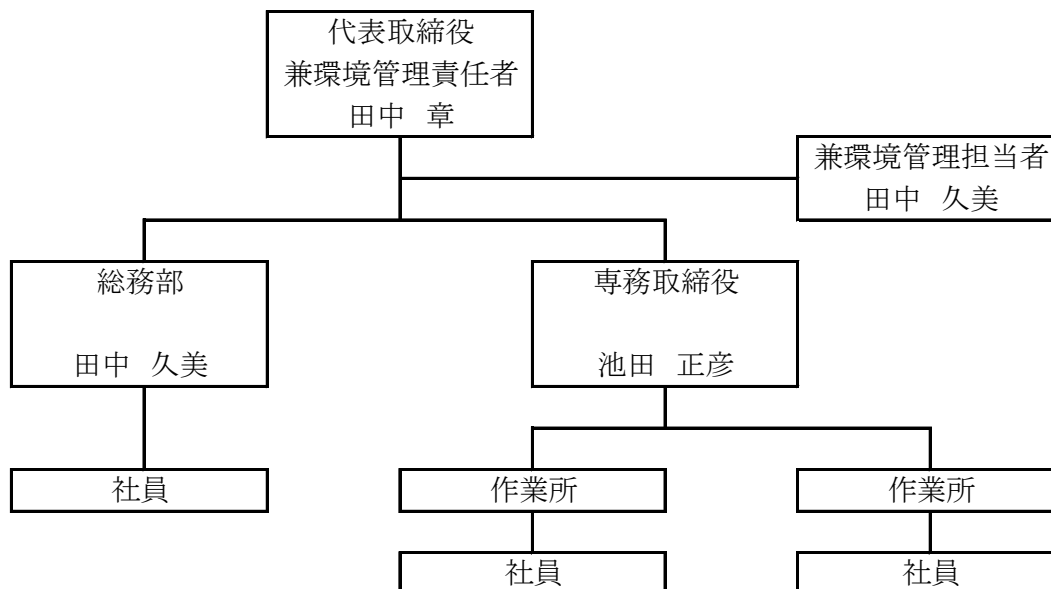
改定日 2021年 1月 6日

更水建設工業 株式会社

代表取締役 田中 章

エコアクション21実施体制

承認	作成
田中 章	田中久美
環境管理責任者	総務部



	役割・責任・権限
代表取締役	環境経営に関する総括責任 環境方針の策定・見直し及び周知 環境管理責任者の任命 環境目標の承認 全体の評価・見直しの実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理 環境への負荷・取組の自己チェックの実施 環境目標・活動実施計画書の作成 環境上緊急時対応のための手順書作成・訓練実施 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守の評価 外部との環境コミュニケーション窓口 環境活動取組結果の報告 問題点の予防・是正処置
環境管理担当者	環境目標及び環境活動計画の実施・達成状況報告 環境上緊急時対応のための手順書作成・訓練実施 問題点の予防・是正処置
専務取締役	環境方針の理解と環境への取組の重要性の認識 環境上緊急時対応のための訓練実施・手順書作成 問題点の予防・是正処置
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性の認識 自主的・積極的に環境保全活動に参加

環境経営目標（中長期）

7月～6月

項 目	単 位	基準値(2022年)	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	247,564	245,088	242,613
		(%)	100%	99%	98%
	電力	kWh	13,133	13,002	12,870
	ガソリン	ℓ	20,686	20,479	20,272
	軽油	ℓ	73,591	72,855	72,119
	灯油	ℓ	1,800	1,782	1,764
	LPG	m ³	0.00	0.00	0.00
	一般廃棄物	kg	120	119	118
	産業廃棄物	t	1,643	1,627	1,610
	水使用量	m ³	59	58	57

中部電力ミライズ㈱ 2023年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.382kg-CO2/kWhを使用

環境活動計画の内容

1 エネルギー消費量(CO2の排出量)の削減 (担当者:田中)

① 電気消費量の削減

日射の室内への導入・通風などの自然環境の活用
不要灯火の低減ならびに必要時以外は消灯
空調設定温度の適正化

② ガソリン消費量の削減

運転方法への配慮
(急発進・急停車・アイドリングストップ等)
小型車・ハイブリッド車などの低燃費車の購入

③ 軽油消費量の削減

重機運転方法への配慮
(アイドリングストップ等)

2 一般廃棄物排出量の削減 (担当者:竹村)

- ① ミスコピーの防止、両面コピーの徹底
- ② 使用済み・ミスプリント用紙の裏面利用
- ③ 使用済み封筒の再利用
- ④ ごみ分別の徹底

3 水資源消費量の削減 (担当者:黒岩)

- ① 節水こまの設置などによる上水道の節水
- ② 水道配管の定期的点検

4 省資源の推進、グリーン購入の推進 (担当者:田中)

- ① 再生紙(事務・コピー用紙・名刺・トイレトペーパーなど)の購入
- ② エコマーク商品の購入
- ③ 備品などの新規調達はグリーン購入

5 リサイクルの推進 (担当者:黒岩)

- ① 新聞・雑誌・ダンボールなどの紙類の分別
- ② ビン・カン・ペットボトルなどの飲料容器の分別
- ③ 建設産業廃棄物のリサイクル化(分別・再利用)

6 環境保全の仕組み及び体制の整備 (担当者:田中)

- ① 環境関連法規などの学習及び法令の遵守
- ② 従業員ならびに協力会社への環境教育及び訓練の実施
- ③ 環境コミュニケーション及び社会貢献の推進
- ④ 環境上の緊急時への準備及び対応

環境経営目標の実績と評価

7月～6月

項目		基準値 (2022年)	2023年度 目標値	2023年度実績
CO2総排出量(kg-CO2)		250,614	99%	248,108
電力	kWh	13,133	99%	13,002
	kg-co2	4,977		4,927
ガソリン	ℓ	20,686	99%	20,479
	kg-co2	48,025		47,545
軽油	ℓ	73,591	99%	72,855
	kg-co2	193,127		191,196
灯油	ℓ	1,800	99%	1,782
	kg-co2	4,485		4,440
LPG	kg	0	99%	0
	kg-co2	0		0
上水道	m ³	59	99%	58
一般廃棄物	kg	120	99%	119
産業廃棄物	t	1,643	99%	1,627

2023年度実績の評価

- (1) 電力
例年とは違う気候状況により使用量が増えた。今後も節電に努める
- (2) 軽油、ガソリン
仕事量の増加に伴い、軽油使用量が増えた
- (3) 灯油
適切な使用ができ、目標達成できた
- (4) 上水道
適切な使用ができ、目標達成できた
- (5) 産廃
昨年比で期間中における仕事量が減少し、排出量も減少した

2024 年度 環境活動計画書

No3

環境教育・訓練の実施

環境に関する教育・訓練を実施する

作成日： 2024年7月16日

承認	確認	作成
田中 章	田中 章	田中
代表者	環境管理責任者	環境管理担当者

教育・訓練実施の区分

教育・訓練の分類	対象者	教育・訓練の内容
全従業員教育	全従業員 協力会社社員	① 環境問題の現状 ② エコアクション21概要、取組を行う意義、取組内容等 ③ 環境方針、環境目標、環境活動計画の内容・手順等 ④ 実施体制、役割分担 ⑤ 部門別業務に関連した環境目標、環境活動計画の内容・手順等
法律・規制・条例及び 専門教育	法規制等の 専門業務担 当者	① 法律・規制・条例等の内容等 ② 法律・規制・条例等の遵守等

2023年 教育・訓練計画及び実施表

分類	教育・訓練の内容	7月～9月		10月～12月		1月～3月		4月～6月	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
全社員教育	環境問題の現状	○	● 8月8日	○	● 11月8日	○	● 2月8日	○	● 5月8日
	エコアクション21の概要								
	環境目標・環境計画 の概要					○	● 2月8日		
専門教育	法律・規制・条例等の 内容・新法規			○	● 11月8日			○	● 5月8日
	業務の外部資格の 取得								

2023 年度 環境活動の取り組み結果と評価

2023年7月～2024年6月（12ヶ月期間）

承認	確認	作成
田中 章	田中 章	田中
代表者	環境管理責任者	環境管理担当者

環境活動の取組結果の評価

作成日： 2024年7月16日

項目	担当者	内容	判定	分析と評価及び次年度活動
CO2排出量の削減	田中	二酸化炭素計	×	期間中、目標値+35,258kg-Co2となり、目標達成できなかった。今後も全体朝礼等の際に目標に対する達成率を周知し、全体的な削減努力を徹底する。
		電気消費量	×	作業所の消費量が増え、目標を上回る結果となった。こまめな消灯、間引き点灯等の節電努力を徹底する。
		ガソリン消費量	○	期間中、目標値-2,686Lとなり、目標達成できた。今後も継続してエコドライブに努める。
		軽油消費量	×	土工事の比率が多く、目標数値を達成できなかった。運転時はエコモードに設定し、消費量を抑えるようにする。
廃棄物排出量の削減	竹村	可燃ごみ排出量	○	昨年比ほぼ同排出量となっているので、認識を継続し削減に努める。
		コピー用紙使用量	○	ミスコピー用紙の再使用等を推進した。作業所の使用量が少なく、目標達成することが出来た。
水資源使用量の削減	黒岩	水使用量	○	昨年比ほぼ同排出量となっているので、認識を継続し削減に努める。
省資源の推進、グリーン購入の推進	田中	エコマーク商品の購入・グリーン購入	○	事務用品はエコマーク商品の購入に努めた。
リサイクルの推進	黒岩	建設産業廃棄物のリサイクル化（分別・再利用）	○	建設産業廃棄物のリサイクルは100%だった。
環境保全の仕組み及び体制の整備	田中	環境コミュニケーション及び社会貢献の推進	○	美化ボランティアとして、県道沿いにフラワーポットを設置した。社会貢献として、河川の剪定・除草作業を実施した。

取組結果の判定： ○良好 △概ね良好 ×要検討 一該当なし

項目	環境保全の仕組み及び体制の整備
内容	環境コミュニケーション及び社会貢献の推進

美化ボランティア

(主)信濃信州新線沿い 当社機材庫前へのフラワーポット設置



社会貢献

河川の剪定・除草作業の実施



法令関係

環境関連法規等の遵守状況の結果

環境管理責任者のもと、遵守状況を確認した結果、環境関連法規制等への違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

法 規 制 等 の 名 称	遵守評価
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	○
建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
水質汚濁法	○
NO _x ・PM法	○
消防法	○
悪臭防止法	○
長野市 廃棄物の適正な処理の確保に関する条例	○
大気汚染防止法	○
環境基本法	○
循環型社会形成推進基本法	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	○
地球温暖化対策の推進に関する法律	○
フロン排出抑制法	○

代表者による全体の評価と見直し記録

■定期見直し(事業年終了後)
□臨時見直し

代表者	環境管理責任者
田中 章	田中 章

実施日：2024年7月16日

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項	
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録による) 2024年7月1日に定期評価を実施した結果順守されていた。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 該当する問題点はありません。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 適切に対応していました。 ＜改善への提案＞				[環境経営方針・実施体制] 変更の必要性： □有 ■無 環境経営方針・実勢体制については、現在のまま継続していきます。	
[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)				[目標・活動計画] 変更の必要性： □有 ■無	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	目標 目標については現在のまま継続していきます。	
CO2排出量の削減	○	○	※取組結果の評価参照	活動計画 活動計画については現在のまま継続していきます。	
廃棄物排出量の削減	○	○	※取組結果の評価参照		
水資源使用量の削減	○	○	※取組結果の評価参照		
＜改善への提案＞ Co2排出量抑制への対応 ①軽油の使用量削減に向けて、建設機械の待機時におけるエンジン停止や、車両のエコ運転の実践の周知徹底を図ってください。 ②建設機械・車両更新の際には、低燃費な重機・車両の導入に努める。 ③建設機械のレンタル・リースをする際には、低燃費な重機の導入に努める。				[その他] 変更の必要性： □有 ■無 特記なし。	
[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録より 苦情・要望等はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 特記事項はありませんでした。 ＜改善への提案＞				[総括] (環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載) 環境ボランティア(社会貢献)への参加を作業所ごとにするなど、環境の保全に寄与することを少しでも実行して努力することが、重要であることを意識して、更に環境負荷の低減に努めていきます。	

保管：総務部